

平成 24 年 6 月 7 日

お客様各位

株式会社 山喜農園  
新潟県魚沼市原 1280-1  
TEL. 025-794-2455  
FAX. 025-794-4168  
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp  
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

## 球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

……6 月 1 日の続き……

またしても書き上げることができませんでした。

6 月 12 日から再び出張です。

その後、弊社展示会シーズンを迎えます。きっと状況の整理と気持ちの整理がつかなくてまた書き上げることができなくなると自分自身想像しています。

そんな訳で、今日まで行ってきた仕事について報告します。

今考えている事だけ報告します。

(すいません。書き上げてあるチュリップ・国産百合・11 年オランダ産百合・11 年南半球産百合・12 年南半球産百合は、今回は発行しません。)

また書き直します…。

\* 『ヒカラビー家の花日記』というブログがあります。前回 5 月の出張風景が載っています。面白いと思います。

### 12 年産オランダ産百合球根

6月6日現在	約	20,000,000	球受注		
	約	18,700,000	球発注		
しています。					
これは前年の		60.2%受注			
		56.3%発注	という事です。		

例年、早い対応をして頂いている切花農家の皆様、そして JA 系統流通の方々には 80~100%近い受注を頂いている様です。

大変ありがとうございます。

約 25 年、オランダ球根仕入を行って来てこんなに難しい年はない。

そもそも輸出業社の球根農家からの買い付けすら、30~45%くらいしか進んでいないのが実態です。

輸出業者の仕入れが遅れている事は、本当に良かった。助かったと思っています。(品質の為。)

輸出業社が過去 10~20 年行ってきた自社温室における「品質調査」「開花調査」の蓄積されてきたデータの価値が大きく崩れてしまった様です。(いくつかの実績のあったはずのネット信頼が崩れた。)

1~5 月の上旬までに行われるオランダ球根農家とオランダ輸出業社間の取引は「原則、信用取引」です。過去の品質・実績に基づく仕入契約です。

本年一部の「ストレート」的に開花させた輸出業者の温室の状態。5月下旬に開花を間に合わせた輸出業者の温室は…、言葉もありません。

ワングの天候は、5月中旬くらいまで低温・低日照傾向。加えて、11年産ワング産の休眠打破遅れ。球根品質問題は11年産S.H産よりも11年産ワング産の方がワングにおいては大きな騒ぎになっていました。

試験調査の為の開花時期の中心を、6月にセツしてしまった輸出業者の温室は、今どうなっているのか？問題がはっきり出てくれれば良いのですが、マクされてしまっていたら…。(作型や、環境が悪くなければ発症しませんからね…。)

そもそも「リデイズ」に花が咲いていないというのはいかがなものか…。

日本においても5～10月上旬くらい迄は、問題は出ないと思うのです。騒ぎも起きないと思います。(一部LMOVロットを除く。)

問題は秋以降…。

Long, O. H/O. T系を	約	14,300,000	球発注しています。	前年比約	75%
A. H/L. A系を	約	4,400,000	球発注しています。	前年比約	33%

O. H/O. T系… 一般在来品種の確保割合が高く、中堅・新品種系の確保割合が比較的低い。

A. H/L. A系… 良い農家の球根・品種で、価格合意できたものから順番に。

O. H/O. T系については、10年産、11年産、12年産、3年連続3軒の球根農家＝球根栽培会社の球根数が、取扱い数、又は取扱い予定数の40～45%くらいになる様です。(※「球根農家」＝「輸出業者」ではありませんよ！念の為。輸出業者が農家から買い付けている割合より、当社仕入割合が進んでいる最大の理由。)

3軒の球根農家のシェアが圧倒的に高くなっている理由は、(初期の目的はPlamv対策とは違ったのだが、結果的に品質の良い3軒の農家のシェアが高まった。)

- ①Plamvとの関連が低いオナー農家
- ②オナー農家1軒に対して、生産受託農家が同じく1軒。
- ③受託先に別オナー農家がない。
- ④長年の取引の中で、日本向けの品種生産が多い。(球根品質が安定している。取引に対しての考え方がキレイ。)

☆過去からの積み上げの結果、加えてPlamv問題を整理した結果がこのような形になった様です。

\*問題はここからの仕入、ここからの受注が本当に難しい。(すでに頂いた注文も確保しきれていない品種・球根数がかなりあります。確保できなかつたら早めに連絡します。)

\*A. H/L. A系は、球根価格・相場が高止まっている。依然買い難い一方、ワング渡し価格に暴落させたら次年度以降の生産量減ってしまう事が心配。Plamv問題・LMOV問題・ネトダ問題は、AH/L. Aにもある。

\*O. H/O. T系 13年以降面積激減ほぼ確定。どうなるのか心配です。

\*円高ですから、円貨ベースでは安いけど…。12年産O. H/O. T系の良い球根は、ワング渡し価格ベースで、適正価からやや高めに売り切れる。品質懸念ロットの価格は下がる。(捨てられる？間違っ入ってくるケースもあるでしょう。)

品質の良い球根は、品種によっては日本の需要を満たせない。主要5品種ですら、それを心配している品種・コンディションがあるのです。

中堅品種、新品種の品質管理に関わる背景調査については、自社温室調査以外の方法で、どの輸出業者が出来ているのか！様々なことを考えながら、確認しながら、時間をかけて確保作業を進めています。  
(今回は時間の掛け過ぎという事はないでしょう。)

## 弊社試験栽培

\*今回初めて、EVR, 2N, TL, TLS を同じ日に植えて開花調査としている品種があります。

これは面白い。

コンディションごとの作型導入メット・テメットがはっきりと確認できます。(間違っても使うとテメットカが大きいことがとても分かりやすい。)

18日に帰国。19日以降は出勤します。今年の弊社試験栽培も「ストレス」です。(結果論で、狙っていたわけでは無い…。)

面白いと思いますよ！花が咲く前の方が、圧倒的に情報量が多いみたいです。

よろしくお願ひ致します。

詳細はお問い合わせください。

森山隆